

鶴ヶ島市附属機関会議録

【開催概要】

会議名	令和2年度 第2回鶴ヶ島市立南小・中学校 学校運営協議会
日時	令和2年12月4日（金曜日） 14時20分～16時10分
場所	鶴ヶ島市立南中学校 翔南ルーム
出席委員	内野泰司会長、佐鳥のぞみ副会長、矢島正明委員 鹿内信弘委員、朝生三郎委員、三浦淳平委員 佐藤嘉子委員 千賀洋子委員、大塚肇委員、新井輝次委員、杉原行雄委員 細川 滋委員、山中昭信委員、小池晴夫委員 廣田信子委員 栗原啓介委員、内野昌史委員 伏見隆一委員（南小学校校長）、真武公司委員（南中学校校長）
欠席委員	2人 近藤茂委員、宇津木克也委員
事務局	南小学校 山崎真由美教頭、松本靖久主幹教諭 南中学校 藤田茂教頭、高沢聖子主幹教諭、和田智史教諭
議題	(1) 南小学校・南中学校のこれまでの教育活動について (2) 令和2年度の学校評価について (3) 今後の学校運営について ・南中学校の校則等の見直しについて ・南中学校の部活動の朝練習について (4) 地域における児童生徒の様子について (5) 学校への要望・意見について (6) その他
配布資料	令和2年度第2回鶴ヶ島市立南小・中学校運営協議会資料 ○鶴ヶ島市立南小学校 ・活動の様子（写真） ・学校だより（10月～12月）・学校評価の実施日程 ○鶴ヶ島市立南中学校 ・活動の様子（写真） ・学校だより（10月～12月）・学校評価の実施日程 ・校則等の見直しについて ・部活動の朝練習について
公開・非公開	公開
傍聴人数	0人
会議要旨	(1) 南小学校、南中学校の児童生徒の様子及び学校評価の日程について、事務局から説明した。 (2) 南中学校「今後の学校運営」について、「中学校の校則等の見直し」及び「中学校の部活動の朝練習」について、南中学校長から説明し、意見をいただいた。

【議事概要】 議事進行（会長）

<会長> 議事に入る。

議題（１）南小学校、南中学校の児童生徒の様子

・事務局（南小教頭、南中教頭）から「現在の小・中学校の教育活動」について、配布資料の写真や学校だより（１０月～１２月）をもとに説明。

<会長>何か質問等はあるか。

<委員>特になし

議題（２）南小学校、南中学校の学校評価日程について

・事務局（南小教頭、南中教頭）から「今後の学校評価の実施日程」について配布資料をもとに説明。

<委員>南小の学校評価結果の公表は「C4Th（メール配信システム）」で配信するという説明だったが、登録していない家庭にはどのように伝えるのか？

<教頭>「C4th」の配信のほか、紙面の配付も行う。

議題（３）南中学校「今後の学校運営」について

・南中校長から「中学校の校則等の見直し」について配布資料をもとに説明。

<校長>今の時代にそぐわない根拠の乏しい校則の見直しと、性差による制服着用の決まりの見直しを図った。  
いろいろとご意見を伺いたい。

<委員>校則等の見直しについて賛成。健康面（ストッキングなどの使用）を考慮した検討をお願いしたい。

<委員>体育着で登校する生徒がいるが、学校側の対応は？

<校長>コロナ感染予防と熱中症対策から 9 月まで体育着の登校可としていたが、秋からは制服での登下校となっている。  
校則（靴下や着こなし）については、生徒会を中心に生徒自身にも考える機会として投げかけている。

<委員>多様性（LGBT など）を認めるという観点から賛成。公教育の中で、少数派も社会の一員である視点で考える機会としてほしい。

<校長>授業の中でも保健指導（LGBT の授業）や人権教育を通して生徒に

考えさせる機会を設けている。

<委員> 髪型などの校則についてはどのようになっているか。

<校長> 「加工しない髪型」を原則としている。教師側だけでなく生徒にも考えさせていきたい。

<委員> ジェンダーフリーという観点から賛成。制服の女子のベストの取り扱い方、またネクタイも含め性別関係なく組み合わせで使用できる旨の表記をわかりやすくしてほしい。

<校長> 業者との調整もあるので難しいこともあるが、これまでセット販売だったものを個別の販売に切り替えてもらうようにした。

<委員> 体育館履きは今まで通りか？

市内各学校の現状は？

<校長> 体育館履きは変更なし。市内では南中が初めての試みになる。それぞれの学校の判断は各校の校長が行うことになる。

<委員> 制服撤廃もふくめて市内各中学校にも広げていただきたい。

<校長> 経済的な側面も考慮しなければならないので難しさがある。

<委員> 教育委員会の方向性は？

<校長> 多様性を認める社会という観点から進めていく方向だろうと思う。

・南中校長から「中学校の部活動の朝練習」について配布資料をもとに説明。

<校長> 部活動が重要な教育活動の一つであることは言うまでもないが、運営面で課題や問題点もいくつか指摘されている。今回は特に朝練習についてご意見を伺いたい。

<委員> 先生の勤務も大事だが、子供たちの成長（技術の向上やチーム強化）は指導者の情熱によって変わる。情熱をもって運営することが大事ではないか。

<校長> 部活動が強くなるとより多くの練習時間を確保したくなる。そのためより多くの時間に縛られるということもあって、簡単に解決できない難しさがある。制度として部活動指導員の活用があるが、なかなか人材が確保できないのが現状である。

<委員> 方向性としては先生の手から離していくことを考えないと先生の生活が成り立たなくなる。対価を払うなどよりよい方向にもっていかないと今後も変わらない。

<委員> 種目別にどうするべきかというアイデアはあるのか？

また、放課後の活動についても帰りが遅く、暗い中を下校することを心配している家庭もある。

<校長>部活動指導員については市でも予算化しているが、希望者が少ない。専門的な指導技術だけでなく教育的な指導者でもあるという条件を満たす必要がある。難しさがある。

<委員>朝練習が7時30分からだとすると6時30分ごろ家を出る子もいる。給食（13時ごろ）までの時間や健康体力面などを考えると朝練習はなくてもよいのではないか。

<校長>現状として日課を変更して給食時間を早めるのは難しい。

<委員>朝練習はなくてよい。やれば強くなるというものでもない。先生の勤務状況を考えると負担を減らす必要がある。先生にも家庭がある。毎日6時頃に家を出てというのは厳しい。部活動に限らず先生の負担はどんどん増えていっているのが現状である。朝練習は個人単位の練習で十分ではないか。

<委員>朝練習があると小学校の時に比べて睡眠時間が2時間近く減る。健康面で心配である。

<委員>朝練習はなくてよい。うまくて強い人はいいが、普通の人にとってはつらいものがある。朝練習イコール成績にはつながらない。

<委員>コロナ休校中も練習している他校の中学生を見かけた。強くなりたくてやりたい子もあるが、自主的にやるのが一番大事。

<委員>制度として、南中として一定の方針を明らかにしたということの提案か。

<校長>その通り。

<委員>強制的な朝練習ではなく、管理面や安全面の問題もあるが自主参加の練習であればよいのかなと思う。個人でやる参加自由の朝練習もあってよい。

<委員>下校時間が遅い。

<校長>日没時間との関連を考えて検討したい。

<委員>暗い中一人で帰る女子もいる。とても心配。

#### 議題（４）地域における児童生徒の様子について

<委員>コロナ禍の中でコミュニケーションの力（あいさつや感謝の言葉）を育てることは大切。今後も続けてほしい。

<委員>子供も少なくなっている中、地域の人が子供にかかわる機会が減っている。学校から地域に出ていくことも必要。交流を増やしたい。

議題（５）学校への要望、意見等

<委員>新しいことを始めるには反対意見もあり、いろいろと難しいが、ぜひ頑張ってほしい。

<委員>本から得るものって大事なものがあると思う。学校図書館の利用率やどんな本が読まれているか、おすすめの本などの情報を発信してほしい。

<校長>「図書館だより」なども有効に活用しながら進めたい。

議題（６）その他

<委員>特になし。

<会長> 以上で議事を終了する。